



ツキノワグマ出没注意報を全県に発令します

先週末、県内において人身被害が2件発生し、また目撃件数が増加傾向となっていることから、県民の皆さんに改めて注意していただくため「ツキノワグマ出没注意報」を発令します。

クマ出没注意報の発令期間

令和6年**6月5日(水)**から**8月31日(土)**まで

区域

県内全域

クマの出没状況

(里地での目撃状況)

・令和6年5月 106件 (同月比較 R5年 68件の1.6倍)
(平常年平均58件の1.8倍)

・令和5年度通年 1,406件 (R4年度770件、R3年度1,059件)

(人身被害の状況)

・令和6年度 2件 2名 (R5年度 11件 12名)

<クマ出没注意報の発令基準>

- ・里地での目撃件数が平常年の1.5倍以上
- ・里地での人身被害の発生

上記を基準に専門家の意見を踏まえ総合的に状況を判断して発令

県民の皆様へのお願い

- ・山に入る時は、遭遇リスクを軽減させるため、クマ鈴等、大きな音のでるものを携行し、複数人で行動してください。
- ・クマの出没が確認されている場所には近づかないでください。
- ・農作物の畑地の周囲での電気柵設置、生ごみの適切な処理など、クマを誘引しない対策をお願いします。

別紙資料もご参照ください。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0

~大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために~

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

担当 林務部 森林づくり推進課
鳥獣対策係 塚平、田淵

電話 (直通)026-235-7273 (内線)3264

FAX 026-234-0330

電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

(別紙) クマと遭遇しないために

○朝夕の行動は避ける

明け方と夕方はクマの活動が活発です。この時間帯は、山中に入らないようにしましょう。また、出来るだけ単独での行動はやめ、複数で声を掛け合いながら行動しましょう。

○周囲の確認をする

山の中には、クマがいると思って行動しましょう。

また、溪流釣りなどの場合は水の音で、クマも人もお互いの気配を感じず接近してしまうことがあります。山中では周囲に十分気を付けましょう。

○クマのいる場所に近づかない

山中はクマの生息地です。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

○笛、ラジオ、鈴の携帯を

人の気配を感じたらクマは自ら避けてとおります。人の存在を知らせるために、笛、ラジオ、クマ鈴など音の出る物を携帯するようにしましょう。

○子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母グマがいます。母グマは子グマを守るために、人へ攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう。

○犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとします。しかし、犬が一緒の場合には、犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。

犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

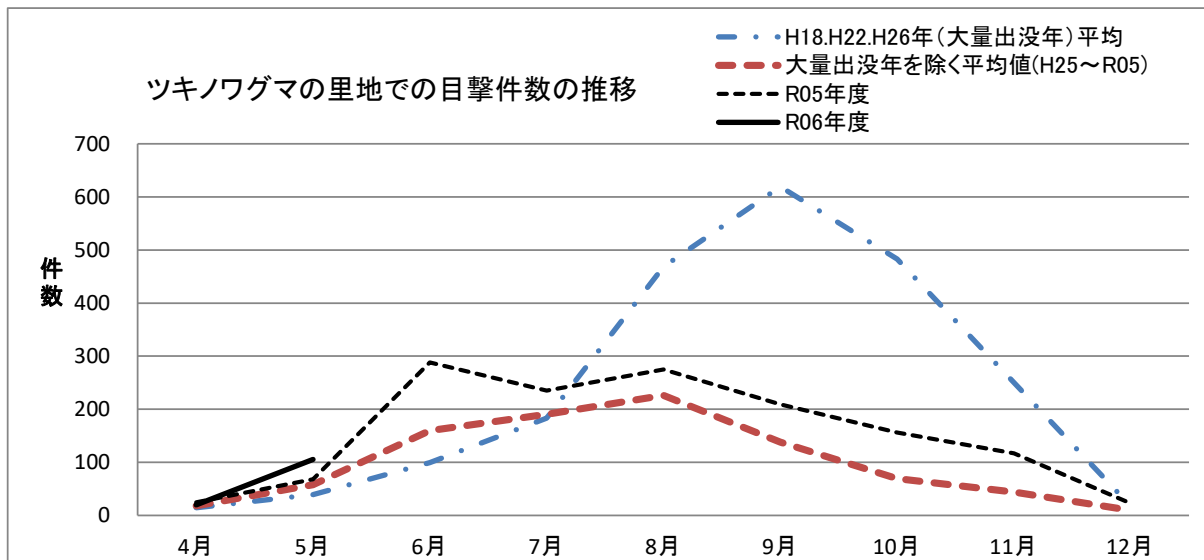
長野県林務部森林づくり推進課

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 -3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	1,591	14(14)
H25	14	41	84	89	147	85	12	4	0	-	476	3(3)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	1,575	31(32)
H27	25	47	134	142	177	37	12	8	0	0	582	6(6)
H28	12	60	137	163	171	118	87	31	6	1	786	9(9)
H29	11	20	91	151	152	128	22	20	3	2	600	6(7)
H30	22	92	183	158	182	55	23	18	9	7	749	5(5)
R01	18	64	196	291	334	207	125	68	16	13	1,332	8(8)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	10	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	3	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	14	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	10	1,406	11(12)
R06	20	106									126	0

※人身被害は林内での発生も含む。
網掛けのセルは大量出沒年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月 累計	人身被害 件(人)
H18. H22. H26年 (大量出沒年) 平均	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出沒年を 除く平均値 (H25~R05)	18	58	160	191	227	138	70	44	10	914	8.4(8.6)
R05年度	25	68	288	235	275	209	156	117	23	1,396	11(12)
R06年度	20	106								126	0



- ・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。
- ・大量出沒年には、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響が推察される。